

目ざまし時計 取扱説明書 電波クロック

このたびはセイコークロック商品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

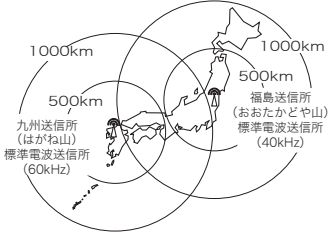
説明書番号 FNR-064P

製品の特長

- 電波修正機能つきデジタル時計（福島・九州の東西電波を自動選局）
 - 電子音アラーム（アラームを一度止めても約5分後に再び鳴り出すスヌーズ機能つき）
 - 時刻、カレンダー、温度を表示
 - LEDバックライト機能
- ※ 電波を受信できない場合でも、クォーツ時計としてお使いいただけます。

電波クロックについて

- 電波時計／電波修正機能とは？
正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に時刻を修正・表示します。
- 標準電波とは？
情報通信研究機構（NICT）が運用している時刻情報をのせた電波で、国内2カ所から異なる周波数で送信されています。標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という超高精度を誇る『原子時計』によるものです。
- 電波の受信について
標準電波の受信可能な地域は条件によって異なりますが、送信所（東・西2カ所）から、おおむね1000km～1200kmです。この製品は、40kHz（福島送信所）、60kHz（九州送信所）のいずれか受信しやすい電波を自動的に選択し、受信します。ただし、天候、設置場所、時計の向き、時間帯、地形、建物の影響などによって、受信できない場合があります。
- ご注意
●電波障害などによって、誤った時刻が表示される場合があります。また、設置場所や電波状況によっては受信できないことがあります。そのようなときは、場所を変えてお使いください。
●電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で動作します。
●標準電波は、毎時15分と45分から各1分間はコールサインの送信を行うため、一部の時刻情報の送信が中断されます。また、設備のメンテナンスや落雷などの影響により電波の送信が停止（停波）することがあります。停波に関する情報は、弊社ホームページをご覧ください。なお、お客様相談室にお問い合わせください。
（ホームページアドレス <http://www.seiko-clock.co.jp>）



必ずお読みになってからご使用ください

使用場所について

- 下記のような場所では使用しないでください。
時計や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。また、本製品は業務用ではありません。
- 温度が50℃以上になる所や直射日光の当たる所。
（例）屋外、または暖房器具などの熱風や火気に近い所。
 - 温度が－10℃以下になる所。
プラスチック製の部品や電池が劣化することがあります。
 - ちり・ほこりの多い所。
空気中に舞い上がったごみが歯車や接点に挟まり、時計が止まる場合があります。
 - 大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。
磁力の影響で、進み・遅れが生じたり、時計が止まる場合があります。
 - 浴室など湿度が90%以上になる所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接当たるような所。
 - 振動のある所。不安定な所。
 - 工場、台所など、多くの油を使用する所。
霧状になった油分が時計の歯車などに付着し、時計が止まる場合があります。
 - ビニール系素材の壁、敷物などの上。
壁や敷物、および時計が汚れたり傷むことがあります。
 - 木枠の時計の場合は、空気が非常に乾燥した状態や湿気の多い状態が続くと、枠が傷むことがあります。また、40℃以上の高温になると、接合部が変形したり損傷することがあります。
 - 寒い所から暖かい所への移動などによる、急激な温度変化を避けてください。
（結露に注意してください）
- 本製品をご使用の際は、できるだけ電波を受信しやすい窓際などに設置してください。なお、天候、時間帯、建物の影響など、次のような環境条件の下では正確に受信できないことがあります。場所を変えてご使用ください。
- ビルの中、ビルの谷間、地下
 - 高圧線、テレビ塔、鉄道の架線の近く
 - 冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリなどの家電製品やOA機器の近く
 - 工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害の発生しやすい所
 - 乗り物の中（自動車、電車、航行機など）
 - スチール机など、金属製の家具の上や近く
 - その他、電波ノイズを発生させるものの近く
- ※電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で動作します。

液晶パネルについて

- 見る方向によって表示が薄くなったり、ムラになったりすることがあります。
- 温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなる場合があります。
- 温度が高くなると液晶パネル面が黒くなり、判読できなくなることがあります。
- 次の場合、静電気や圧力を加えることにより、黒い線・しみ・縞模様が発生することがありますが故障ではありません。しばらく放置しますと元に戻ります。
 - ・表示部の透明シールをはがしたり、乾いた布などで拭いたとき
 - ・指などで液晶パネルを押したとき

お手入れついて

- お手入れの際、ベンジン、シンナー、アルコール、磨き粉、各種ブラシなどは使用しないでください。また、殺虫剤、ハエスプレーなどがつかないようにしてください。変色したり、傷が付く恐れがあります。
- 汚れやほこりを取るときは、やわらかい布で乾拭きしてください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を少量、やわらかい布に含ませてふいてください。その後、やわらかい布で乾拭きしてください。

この取扱説明書の内容は、将来予告なく変更することがあります。あらかじめご承知ください。印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。この時計によって生じた、いかなる支出、損益、その他の損失に対して、弊社は一切の責任を負いません。この取扱説明書の内容の一部またはすべてを、製造者の許可なく転載・変更・複製することは禁じられています。

本製品、またはアフターサービスなどについてご不明なことがありましたら、製品の裏面または底面に表示されている製品番号（品番）をご確認のうえ、セイコークロック（株）お客様相談室にお問い合わせください。
（例：AM000、KRO00、SQ000など）

お客様相談室 0120-315-474

<http://www.seiko-clock.co.jp>

発売元

セイコークロック株式会社

製品仕様 (改良のため予告なく変更する場合があります)

時間精度：平均月差±30秒
（気温5℃から35℃で使用した場合）
（電波受信による時刻修正を行わない場合）

表示精度：±1秒
（電波受信による時刻修正を行った直後）

使用温度範囲：－10℃～＋50℃
ただし、表示判読可能温度範囲0℃～＋40℃

アラーム：電子音、約5分間オートストップ、約5分間スヌーズ（スヌーズは何回でも繰り返し返すことができます。）

カレンダー：2000年1月1日～2099年12月31日のフルオートカレンダー
月末、うるう年とも修正不要。

温度測定範囲：0℃～＋40℃（測定範囲内での精度±2℃）

表示：日付（月／日、曜日）、午前／午後表示による12時間制または24時間制表示、周囲温度（℃）

使用電池：単3形乾電池 2個
電池寿命：約1年
※単3マンガン乾電池（R6P）を2個使用時。
※アラームを1日につき約10秒間使用した場合。

電波受信機能：自動受信（午前2時から3時間ごと。次の受信までクォーツの精度で動いています。）
手動受信

※センサーが時計内部にあるため、時計周囲の温度が変化しても表示が変わるまで時間がかかります。
※温度が以下の状態になったときの表示
－10℃より低い…「Lo」、50℃より高い…「Hi」

必ずお守りください 安全上のご注意

⚠ 警告

<アルカリ電池について>

- （1）ショートさせたり、分解、加熱、火への投入などを行わないでください。
アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。
- （2）万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合は、きれいな水で洗い流してください。
また、眼に入ったときは、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

<梱包用ポリ袋について>

窒息する恐れがありますので、ポリ袋を絶対にかぶらないでください。

⚠ 注意

<時計の設置場所について>

落下により、けがをしたり器物を破損する恐れがありますので、振動のある場所や、不安定な場所には時計を設置しないでください。

<電池について>

下記の注意事項を必ず守ってください。電池の使い方を間違えると、液漏れや破裂によるけがの恐れがあり、また、機器の故障の原因となります。

- （1）電池は必ず⊖側から入れてください。また、⊕ ⊖を正しく入れてください。
- （2）製品仕様に記載された電池寿命を経過した場合は、時計がまだ動いていても、すべて新しい電池と交換してください。また、時計を使わないときは、電池をすべて取り外してください。電池を入れたままにしておくと、古い電池からの液漏れなどにより、時計や周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。
- （3）付属の電池は充電式ではありません。充電すると液漏れや破損の恐れがあります。
- （4）電池に直接ハンダ付けしたり、水滴を付けないでください。
- （5）直射日光の当たる場所や、高温・多湿の場所を避けて保管してください。また、使用済の電池は速やかに処分するか、幼児の手の届かない所に保管してください。
- （6）時計が動かない場合などは、電池の端子が汚れていることがあります。そのときは、やわらかい布などでクリーニングしてください。
- （7）付属の電池は、工場出荷時に同梱された、動作を確認するためのモニター用電池（お試用電池）です。したがって、お買い上げ後、製品仕様の年数に満たないうちに電池寿命が切れることがあります。
- （8）充電式電池や初期電圧が高い電池を使用しないでください。正常に動作しなかったり、電池寿命が短くなるなどの不具合が発生する場合があります。

<時計と電池の廃棄について>

お住まいの自治体の定める規則に従い、廃棄してください。

<液晶パネルについて>

液晶パネルが破損した場合、ガラスおよび中の液晶には十分に注意してください。

万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。

- （1）皮膚に付着した場合は、付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- （2）目に入った場合は、きれいな水でよく洗い流し、最低15分間洗浄した後、直ちに医師の診断を受けてください。
- （3）飲み込んだ場合は、きれいな水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出した後、直ちに医師の診断を受けてください。

保証・アフターサービス

- この時計はメーカー保証です。保証の内容については保証書をご覧ください。なお、保証書は日本国内のみ有効です。また、アフターサービスも日本国内のみの対応となります。
- 保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、販売店が預かりし、メーカーが無料で修理いたします。必ず販売店名が捺印された保証書を添えてご依頼ください。
- 保証期間中でも無料修理の対象とならない修理品、および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- この時計の修理用部品は、製造終了後3年間保有しています。この期間は原則として修理が可能です。修理用部品とは、製品の機能を維持するために不可欠な時計本体の部品です。なお、修理可能な期間は、ご使用条件により異なります。また、修理可能な場合でも、元どりの精度とならない場合があります。販売店とよくご相談ください。
- 修理の際、部品・その他の付属品は、一部代替部品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。
- 保証期間外、または無料修理の対象とならない修理の際は、本体の修理料金のほか、販売店と修理工場との間の往復運賃など、諸費用をお客様にご負担いただきます。なお、修理代金が標準小売価格を上回る場合があります。あらかじめご承知ください。
- 保証期間中・経過後ともに、修理を依頼されるときは本製品を販売店にご持参ください。
- お客様が本製品を分解されると、修理不可能となる場合があります。また、けがの恐れがあり大変危険です。さらに、保証の対象外となりますので、ご注意ください。
- ご不明な点は、お客様相談室にお問い合わせください。

故障かな？と思ったときは

本製品が正常に動作しないときは、修理を依頼される前に、以下の表を参考に対処してください。
なお、新しい電池と交換する場合は、電池の使用推奨期限をご確認のうえご使用ください。

症 状	考えられる原因	処 置
表示が出ない	・電池が入っていない。 ・電池の容量が少なくなっている。 ・きちんとリセットされていない。	・新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、「リセットボタン」を押してください。
時刻またはカレンダーの表示が欠けている	・電池の容量が少なくなっている。 ・きちんとリセットされていない。 ・静電気等による誤動作。	・新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、「リセットボタン」を押してください。 ・電池を入れ直してから確実に「リセットボタン」を押してください。
時刻またはカレンダーが合っていない	・受信に成功していない。 ・電池の容量が少なくなっている。	・「■電波を受信できなかった場合」をお読みになり、再度受信させてください。 ・新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、「リセットボタン」を押してください。
アラームの音が鳴らない	・きちんとリセットされていない。 ・「アラームスイッチ」がOFFになっている。 ・電池の容量が少なくなっている。	・「アラームスイッチ」をONにしてください。 ・新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、「リセットボタン」を押してください。

ご使用方法

（時計により外観、ボタン・電池の位置が異なりますが、操作は同じです。）

■付属品 ご使用の前にご確認ください。

■取扱説明書/保証書（本書） 1 枚 ■モニター用電池（単3形乾電池） 2 個

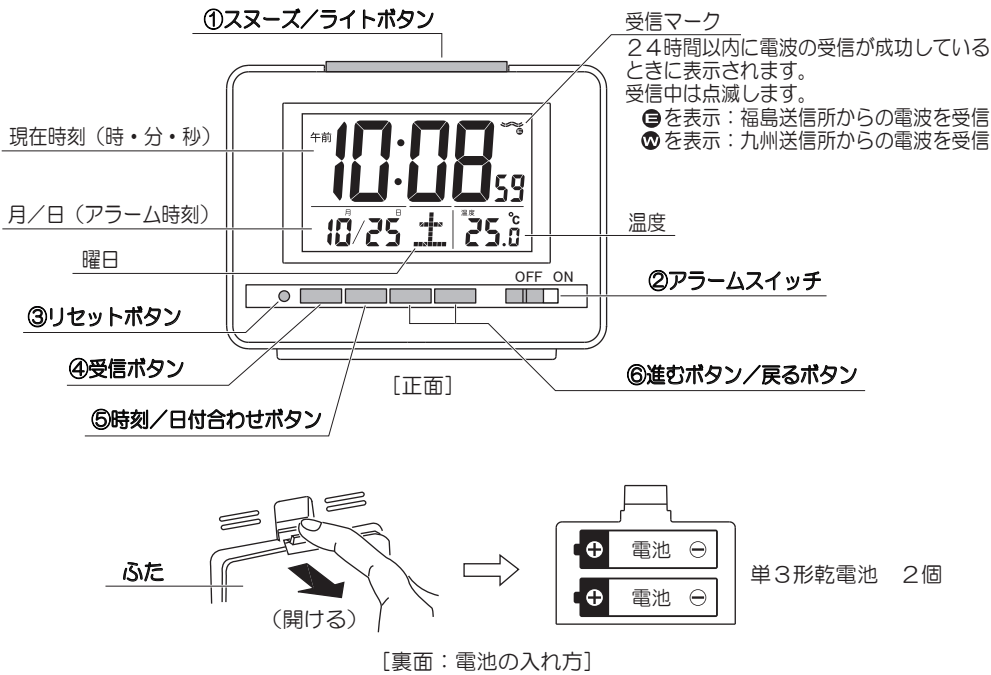
※付属の電池は、動作を確認するためのモニター用電池（お試用電池）です。お買い上げ後、仕様の年数に満たないうちに電池寿命が切れる場合があります。

■はじめに

安全上のご注意ならびにその他の注意事項をお読みの上、ご使用ください。

製品によって、表示部に透明シールが貼ってあります。シールが貼ってある場合は、ゆっくりはがしてください。（このとき静電気により黒い線、しみなどが発生することがありますが、しばらく放置しますと元に戻ります）

■各部の名称



- | | |
|--------------|--|
| ①スヌーズ/ライトボタン | バックライトが点灯
アラームが鳴っているときに押すとスヌーズ機能が実行（約5分後に再びアラームが鳴ります） |
| ②アラームスイッチ | アラームのON/OFFを選択 |
| ③リセットボタン | 初期化を実行（先端の細いもので必ず押してください） |
| ④受信ボタン | 標準電波の受信を開始（通常表示のときに押した場合）
※受信中に押すと受信を中止します。 |
| ⑤時刻/日付合わせボタン | 手動で現在時刻や日付を合わせる場合（2秒以上押し続けてください） |
| ⑥進むボタン/戻るボタン | アラーム時刻の入力、手動による時刻や日付の入力 |

■ご使用方法

1. 電池を入れてください（単3形乾電池 2個）

本体裏面のふたを開けて、⊖ 側から電池を入れてください。
電池の ⊕ ⊖ の向きを間違えないように注意してください。

※種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
※充電式電池や初期電圧の高い電池を使用しないでください。正常に動作しない、電池寿命が短くなるなどの不具合が発生する場合があります。

2. 「③リセットボタン」を先端の細いもので押してください

表示が全てついた後、時刻「午前12：00」となり、標準電波の受信を開始します。

●受信中は、Ⓜ マーク（または Ⓜ マーク）が点滅し、受信マーク が受信状態に応じて変化します。

●受信に必要な時間は最長約16分間です。

※夜間は昼間よりも受信状態が良くなります。昼間に受信できなかった場合でも、翌日までに自動で受信できることがあります。（詳しくは裏面の『電波クロック』をご覧ください）

【受信成功】

受信マーク が表示され、正しい日付と時刻に修正されます。

●受信成功後、正しく表示されているかをご確認ください。

【受信できない】

受信マーク は表示されず、このとき時刻、日付の修正は行なわれていません。右記「■電波を受信できなかった場合」にしたがって場所を変えて再度受信させるか、手動操作で時刻、日付を合わせてください。

●使用場所の受信状態が良くない場合は、数分で受信を中断することがあります。

※電池交換後は、必ず「③リセットボタン」を押してください。

3. 時計を設置してください

本製品を使用したい場所に置いてください。

●窓際など、できるだけ電波を受信しやすい場所でご使用ください。

4. アラームを鳴らすには

(1)「⑥進むボタン/戻るボタン」を押してアラーム時刻を合わせてください。

●「⑥進むボタン/戻るボタン」を押すと、日付がアラーム時刻に切り替わって点滅し、アラーム時刻合わせの状態になります。

●アラーム時刻合わせの状態で「⑥進むボタン/戻るボタン」を押し続けている間は早送りします。

●約5秒間押されない状態が続くと、自動的にアラーム時刻が確定し、[通常表示]に戻ります。

(2)「②アラームスイッチ」をONにしてください。

アラーム時刻になるとライトが約5秒間点灯し、アラームが鳴ります。

●アラームマーク が表示されます。

●日付表示がアラーム時刻表示に切り替わります。



5. アラームを止めるには

アラームを止めるには2通りの方法があります。

1. アラームを完全に止める

「②アラームスイッチ」をOFFにして止めます。

●アラームマーク が消えます。

2. 約5分後に再度アラームを鳴らす（スヌーズ機能）

「①スヌーズ/ライトボタン」を押すとアラームが止まり、約5分後に再び鳴り出します。

●スヌーズ中はアラームマーク が点滅します。

●スヌーズ機能は何回でも繰り返すことができます。

▲アラームは約5分間で自動的に止まります。（オートストップ機能）

この場合、アラームマーク は表示されたままとなり、翌日のアラーム時刻に再びアラームが鳴ります。

その他の機能

■自動受信について

午前2時から3時間ごとに、自動で電波受信を行います。
受信に成功すると現在表示している時刻、日付を修正します。

■電波を受信できなかった場合

1. 電波を手動で受信させ時刻、日付を合わせる

電波状況の良い窓際などへ移動してください。

次に「④受信ボタン」を押してください。（標準電波の受信を開始します）

●受信状態については、左記「■ご使用方法」をご覧ください。

●うまく受信できない場合は本体の向きや場所をかえて、もう一度受信させてください。

ご使用中に受信マーク が表示されない場合は、使用場所の受信状態が良くないことが考えられます。

●詳しくは裏面の『電波クロックについて』をご覧ください。

2. 手動で時刻、日付を合わせる

電波を受信できない場合は、手動で時刻、日付を合わせてご使用ください。

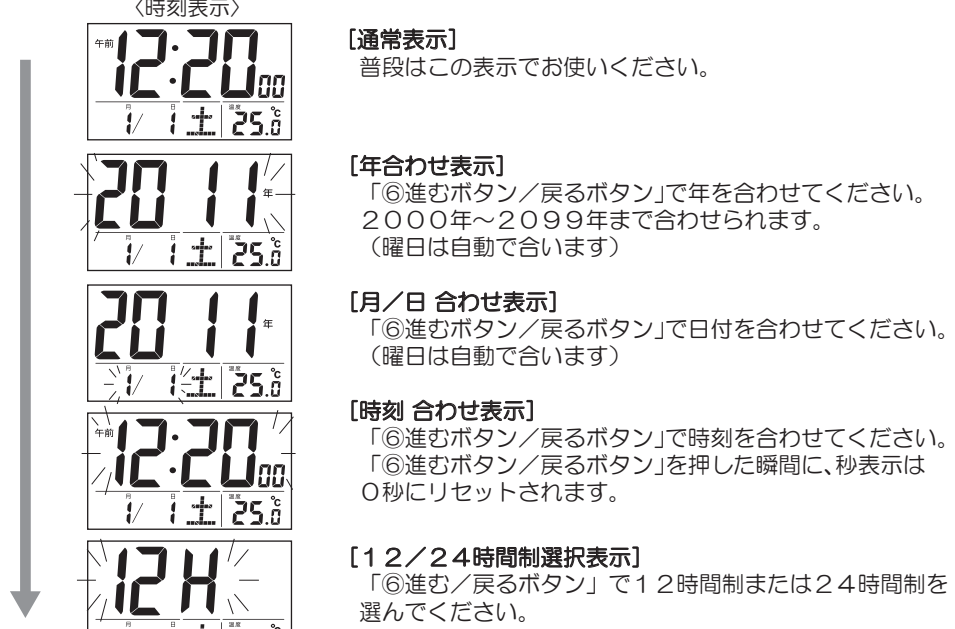
(1)「⑤時刻/日付合わせボタン」を2秒以上押し続けてください。

(2)「⑤時刻/日付合わせボタン」を押すごとに、下図のとおり、順に表示が点滅します。

(3)「⑥進むボタン/戻るボタン」で日付や時刻を合わせてください。

●「⑥進むボタン/戻るボタン」を押し続けている間は早送りします。

●5分以上「⑥進むボタン/戻るボタン」を操作しない場合は、自動的に[通常表示]に切り替わります。



(4)12/24時間制選択が終了しましたら、「⑤時刻/日付合わせボタン」を押して[通常表示]に切り替えてください。

■12時間制/24時間制の選択について

時刻の表示方法を切り替えるときは、上記『2.手動で時刻、日付を合わせる』にしたがって、12時間制または24時間制表示を選んでください。

（受信マーク が表示されている場合、時刻の表示方法を切り替えると受信マーク は表示されませんが、その後受信に成功すると再度表示されます）

■ライトについて

「①スヌーズ/ライトボタン」を押すとライトが点灯し、ボタンを放してから約5秒間点灯します。

■自動受信を止めるには

この時計には自動受信を止める機能があります。

（海外で使用する場合は、時刻をずらして使用したい場合は、自動受信を止めてください）

(1)「④受信ボタン」を、“OFF”が表示されるまで8秒以上押し続けてください。

(2)上記『2.手動で時刻、日付を合わせる』にしたがって時刻を合わせてください。

●自動受信を止めても「④受信ボタン」を押すと電波の受信を開始します。

●自動受信を再開するには、「④受信ボタン」を、“ON”が表示されるまで8秒以上押し続けてください。

■ご注意

●本製品にはマイコンが内蔵されています。静電気などにより表示不良など誤作動することがありますが、故障ではありません。誤作動した場合は、「③リセットボタン」を押してください。

●「③リセットボタン」を押した場合は、設定された時刻などはすべてリセットされます。

●本製品は、日本標準電波仕様のため、海外では電波修正機能は使用できません。

●電池交換後は、必ず「③リセットボタン」を押してください。